

審査会における評価項目

新しいことに向かって自ら行動を起こす、チャレンジしていくという意識を持つことによって、真に社会の中で活躍できる人材として学生自身に成長してもらうことがこの事業の目的です。

この事業はビジネスとして成功させることを最終目標としていません。

途中で上手くいかなくなっても構いません。試行錯誤しながら、挑戦することが大切です。

立派なプランを作ることよりも、とにかく行動に移すこと、そして、実現に向けた想いや熱量を、審査会において重視します。

評価項目は以下のとおりです。この点を踏まえて、申込書の記載や、審査会でのプレゼンの準備を行ってください。

1 明確性・・・★

- ・ なによりもまず、「どんなことをやろうとしているのか」「何を解決しようとしているのか」について、はっきりと伝えられているかどうか重要です。第1にそこを評価します。

2 創業意欲・本気度・・・★

- ・ 本プログラム中、申込時に策定したプランから大きくピボット（方向転換）しなければならない状況に直面するかと思います。そんな中でも折れることなく、事業にかける想いや熱量を持って創業を実現してみせるという取組み・姿勢を評価します。

3 チャレンジ性・・・★

- ・ 誰でも簡単に取り組めることしかやらないのでは、チャレンジ精神を培うことはできません。少し困難な内容でも思い切ってやってみるという姿勢を評価します。

4 学生の主体性

- ・ 取り組みの中には、学生だけでなく、企業と連携したり、社会人と一緒になって取り組む内容もあるでしょう。その場合でも学生が単に指示された通りに動くのではなく、学生が主体的に考えて行動できるような体制となっているかを評価します。

5 ビジネス性

- ・ 実際にモノやサービスを提供して、それに対する売上及び利益を得られる事業であるかを評価します。

6 新規性

- ・ これから新たに取り組んでいく内容であるかどうかを評価します。
- ・ まったくのゼロから取り組む内容であれば、その内容によって評価します。
- ・ すでに取り組んでいる内容であれば、今回の提案部分がこれまでの取り組みをさらに発展・改善する内容となっているかを評価します。
- ・ 今まで誰もやっていなかった革新的なことでもなく、何かと何かを掛け合わせて新しいものを生み出すことでも構いません。

★印は特に重要視する評価項目です。